

①「平成30年北海道胆振東部地震」から1年

人命や産業に甚大な被害をもたらした「平成30年北海道胆振東部地震」の発生から、9月6日で1年を迎えます。

宗谷地方に大きな揺れはありませんでしたが、地下には「サロベツ断層帯」という活断層があります。この断層帯でマグニチュード7.6程度の地震が発生した場合、当地方ではこれまで経験したことがない最大震度6強以上の揺れが想定されます。地震発生に対して、次のような備えをしておきましょう。

- ・地震が発生したときは、『第一に自分の身の安全を守る』
- ・大きな揺れに対しては、家具の固定を行い、避難経路や避難場所を確認しておく。
- ・停電時に備え、懐中電灯や乾電池、ラジオなどを用意しておく。
- ・食料、飲料水、カセットコンロ、ボンベなどを用意しておく。
- ・冬季の地震に備え、避難路の路面状況、落雪やなだれなど雪に関する影響、注意箇所を確認しておく。普段から暖房器具のそばに燃えやすいものを置かない。防寒着、毛布、使い捨てカイロ、断熱マットなどを用意しておく。



②台風の情報が変わりました～台風強度予報を「5日先まで」延長



台風とは熱帯低気圧のうち、北西太平洋または南シナ海に存在し、低気圧域内の最大風速（10分平均）がおおよそ17m/秒以上のものをさします。

台風により引き起こされる災害は、暴風害、洪水害、浸水害、高潮害、波浪害などで、これらの災害は組み合わせることもあります。

過去には大きな被害を与えた台風も数多くあり、近年では平成28年8月に4つの台風が北海道に接近・上陸し、交通・産業に大きな影響を与えました。

気象庁は「台風情報」で台風の実況と予報をお伝えしていますが、平成31年3月14日以降に発生した台風からは、これまで「3日先まで」発表していた強度予報（中心気圧、最大風速、最大瞬間風速、暴風警戒域など）を「5日先まで」に延長して発表しています。

新たに4日先以降の暴風警戒域などに関する情報を提供することで、これまでより早い段階での防災行動等の台風に対する備えが可能になります。



お問い合わせ先：稚内地方気象台 電話：0162-23-2679